平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

女子　1回戦

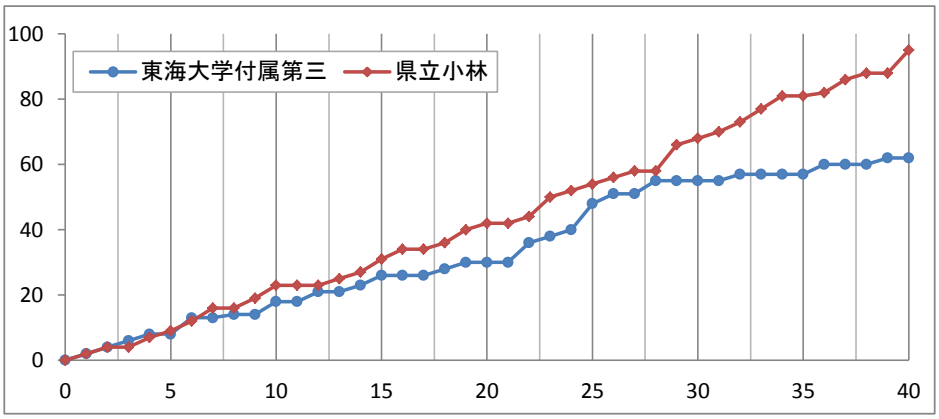
主審　前田　喜庸
副審　櫻田　理恵

東海大学付属第三　62　（長野）●

18	23
12	19
25	26
7	27

95　**県立小林**　○　（宮崎）

No. 29k2　　日時：2013年7月29日（月）11:10　　会場：杵築市文化体育館



東海大学付属第三

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	＊ 野村　弥和　(C)	7	0	3	1	3
5	＊ 丸山　陽絵	25	1	11	0	3
6	＊ 宮島　芙舞姫	9	1	2	2	1
7	＊ 藤沢　萌里	4	0	2	0	1
8	栗原　彩	2	0	1	0	0
9	黒沢　しおり	0	0	0	0	0
10	柳澤　南海帆	0	0	0	0	1
11	小林　英代	0	0	0	0	0
12	＊ 中村　夏妃	10	1	3	1	3
13	常田　紗世	0	0	0	0	2
14	小椋　光	2	0	1	0	4
15	加納　菜々子	3	1	0	0	0
コーチ	有賀　正秋					
	合計	62	4	23	4	18

県立小林

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	＊ 武　愛実　(C)	13	2	3	1	3
5	＊ 髙木　伽奈	35	1	15	2	0
6	有吉　恵美	0	0	0	0	0
7	＊ 永野　紗緒理	9	0	3	3	3
8	＊ 日髙　由貴	17	1	6	2	3
9	＊ 関之尾　希	14	0	7	0	2
10	岡元　麻緑恵	5	1	1	0	0
11	大野　亜寿華	0	0	0	0	0
12	六ヶ所　希望	0	0	0	0	1
13	外山　芹香	0	0	0	0	0
14	山田　有紀子	2	0	1	0	0
15	渡口　杏奈	0	0	0	0	0
コーチ	西田　次良					
	合計	95	5	36	8	12

＊…スターター　(C)…キャプテン　3P…3点シュート　2P…2点シュート　FT…フリースロー　F…ファウル

戦　評

第1ピリオド、ディフェンスはお互いハーフコートマンツーマンでスタートする。序盤、東海第三は#5の　1対1や#6の3Pを中心に攻める。一方の小林は粘り強いディフェンスから#5のポストプレーや#8の速攻で応戦し、一進一退の攻防を見せる。残り3分で小林がディフェンスから徐々に流れをつかみ始め13-16の小林3点リードになったところで東海第三はタイムアウトを請求。タイムアウト後は互角の展開を見せるが、小林が終了間際、#9のジャンプシュートでリードを広げ、18-23の小林5点リードで第1ピリオド終了。第2ピリオド、お互い立ち上がりなかなか得点が決まらず、我慢の展開になる。中盤、小林は#5、#7のインサイドプレーで加点、一方、東海第三も#12のドライブや#5のミドルシュートで食い下がるも、少しずつ小林ペースになり始める。小林#7がブザーと同時にシュートを決め、リードを広げ30-42小林リードで前半終了。
第3ピリオド、東海第三はディフェンスをプレスディフェンスに変え、相手のミスから得点を決める。小林も#5、#7を起点にパス回しから加点。東海第三はさらにディフェンスのプレッシャーを強め、#5、#12の連続ゴールで点差を縮め51-54の3点差になったところで、小林たまらずタイムアウト。タイムアウト後、小林は落ち着きを取り戻し再びリードを広げ、55-68の小林13点リードで第三ピリオド終了。第4ピリオド、序盤から小林は#4、#8の速い展開からの攻撃で一気にリードを広げていく。なんとか喰らいつきたい東海第三だが、なかなか小林の粘り強いディフェンスからシュートを決めることができない。その後もメンバーチェンジ繰り替えし、ディフェンスのプレッシャーをかけ続けるが及ばず、62-95でチーム一丸となったディフェンスと速攻でリズムをつかんだ小林が初戦突破を飾った。敗れはしたものの、最後まで諦めずにボールを追い続けた東海第三の健闘が光った。

記載者　久保　拓也　（所属）大分県バスケットボール協会

Copyright(c) 2011 Yuzo Kosaka All Rights Reserved